



“ほっと”なネットワーク かんちゃん通信

春のそよかせ号
第20号

2023年 春のあたたかい日・発行

かんちゃんといヴィさん（かんちゃんの小さな家の運営スタッフ）が
地元の安土小学校（6年生）のゲストティチャーに

子どもたちが綴った“思い”と対話し 未来をつむぐ新たな一歩を！

ハッとさせられたい！
ワクワクしたい♪

昨年 12 月、「かんちゃんの小さな家」代表のかんちゃんと平田いヴィさんが、活動の様子とスタッフの思いを、地元の子どもたちに話しました。子どもたちの感想には、“自分とつなげて率直に感じたこと”が、たくさんたくさん綴られていました。



その貴重な“思い”の一端を紹介します。6年生の皆さん、これからはボランティアとして応援してくださいね♪困ったことがあれば、いつでも訪ねてきてくださいね♪

♥世界の料理は、初めて見たものが多かったのでワクワクした！

♥かんちゃんの家で活動に参加している人は、すごく安心して過ごせていると思います。いろいろなルームで話すことも安心につながると思います。

♥近江八幡市にもたくさんの外国の人が住んでいることがわかった。いろんな国の人と過ごしていることにおどろきました。

♥日本に住んでいて不安に思っている外国人の方が多いと思います。でも、集まることのできるような場所があれば、安心して過ごすことができると思います。なので、これからも続けてください。

♥お話を聞いて、世界の文化や衣食住を知って見て、初めて、おもしろいとか素晴らしいとかを感じたりできることがわかりました。

♥外国の人が、何にもわからないで授業を聞くと、そりゃわからず困ってしまうけど、その時に、みんなから助けってもらえると嬉しいと思うし、外国のことを知ることができる。そして、外国の料理や伝統のことを知ると、またちがったおもしろさや楽しさがあると思った。

♥日本語がわからなくても、絵でそのことを表せばわかるということに気づいたいヴィさんが、すごいなと思いました。



皆さんのご支援をいただき

「かんちゃん通信」が“20号”になりました！

「第20号の発行に寄せて」記念メッセージ♡（4・5面）

(2)



ダンボールでボンゴを 作って リズムあそびを 楽しもう♪



♥ たたくのがつかれました。いっぱいたたきました。
♥ たいこをつくるのが、たのしかったです。



♥ 身近にある段ボールで、音の違いのある
太鼓が作れるなんて驚きです！



いっしょに“ボッチャ”を 体験してみようかい(会)♪

♥ うまくできるようになって、
たのしくなりました。



♥ ボッチャ、楽しく
て時間があっとい
う間に過ぎまし
た。子どもから
お年寄りまでわき
あいあいでした。



♥ みんなとあそんでたのしかったです。

私の居場所 秋から冬 かんちゃんホットルームより

第 63 回 9 月	ダンボールでボンゴ(太鼓)を作って リズムあそびを楽しもう♪ 45 人 お昼: 忍者パン・カップスープ・おやつ
10 月	お休み月
第 64 回 11 月	消しゴムはんこ 作って♪押して♪ ～マイバックを作ろう～ 63 人 お昼: カップ麺とみかん
第 65 回 12 月	いっしょに“ボッチャ”を体験して みようかい(会)(^^♪ 28 人 お昼: クリスマスのクッキー、 お米とたまごスープ
第 66 回 1 月	あそび村(パート8) 32 人 お昼: ニューオウミ特製の 「変わり親子丼」・クッキー



消しゴムはんこ 作って♪押して♪



♥ハンコがいっぱいおせて楽しかった。
ハンコを作るのがむずかしかった、あきらめかけたけど、ちょっとがんばった。



♥まだ早いかな？
とも思いましたが、
見守りながら彫刻刀
を使わせるよい機会
になりました。案
外、大丈夫なもんで
すね！世界に一つの
エコバッグに子ども
も大喜びでした。

♥少しほるのがむずかしかったけど、きれいな消しゴムはんこのエコバッグが
作れました。このマイバックを大切にしたいです。

けしゴムはんこで
お世話になっています！

伊藤真希さんにインタビュー



◇“けしゴムはんこ”に興味を もたれたきっかけって何ですか？

21 才の息子が、当時、幼稚園のバスの
絵を、子どもらしくかわいく描いたもの
を、私が消しゴムに彫ったことがきっかけ
です。卒園のとき、お世話になった運転手
さんへのお礼の手紙に押ししました。もう、
ずいぶん前のことですね♪

◇“けしゴムはんこ”の魅力って何ですか？

かわいさ、手で彫る作品のあたたかさ、
そして、押したときの喜び、子どもたちの
「わーっ！」という歓声がいいですね♪

私自身、彫ることが好きですし、手軽な
版画として描いた絵を、手紙や年賀状、カ
ード、また、今回のようにマイバックに
と、何回も使えるということです。かわい
い物が作れますし、楽しさも広がります。

◇伊藤さんには、3年間続けて教えていただき ました。「かんちゃんホットルーム」の感想を 教えてください。

毎年、参加される方の人数の多さにびっくり
しています！私は、少しお手伝いをするだけで、
皆さん、それぞれ興味をもって楽しまれていま
す。私が「教える」というよりも、様々なセンス
の方がおられ、“思いがけない作品”に多く出会
える楽しさを感じています。

インクの色がいっぱいあるし、いろんな絵や模
様と出会えます。「これがいい」と思って持って
きたはんこを、「なるほど、こういう使い方をす
るのや！」と、予想に反することが！！・・・私
の固定観念からとび出した作品や、はんこの使い
方、これがとっても楽しいです。

そして、もう一つの点として、スタッフの皆
さんのサポートがすごいなあ！といつも感じて
います。連携がよくて、
そして、やさしく接して
いただけることです。
また次回、お会いできる
ことを楽しみにしています。





“かんちゃん通信 20号”の発行に寄せて 皆さまからのメッセージ

特集

「かんちゃんの小さな家」を立ち上げた翌年の2015 年9月、「かんちゃん通信」の創刊号を発行しました。それから数えて今回が20号に！「いつの間に」という感じ
です・・・あたたかく支えていただく皆さまからのメッセージを紹介します。

子どもたちはいつも無限の可能性を感じさせてくれます
～これからも、仲間とともに頑張ってください！～



こんにちは。佐子さん、小さな家を建てて来年で 10 年になるのですね。始めたころに、「細くても長く続けることが大切です。」とお願いしましたが、仲間の力も借りて続けてこられたのだと思います。とても嬉しく誇らしく思います。

私自身も、これまで様々な子どもたちの相談支援をしてきた中、様々な場面で、泣いたり笑ったり怒ったり怒られたり、たくさんの思いを受けとめて 42 年になります。そんな子どもたちと関わる時に心がけていることは、問題点よりも可能性に焦点を当てること。起こってしまった出来事ばかりに気をとられるのではなく、その子の持っている可能性を考えることです。

家の中のドアノブを、触るごとに手を洗うほど神経質になっていた彼女が、夢を見つけて大学に進学したり、ケンカに明け暮れて英語もまったくできなかった彼が、留学をして現地の大学に進学したり、子どもたちはいつも無限の可能性を感じさせてくれます。だからいつだって思っています。

「過去と他人は変えられない。でも、未来と自分は変えられる。」と。

これからも、仲間とともに頑張ってください。

長 俊介さん（神奈川県）

（特定非営利活動法人日本スクールソーシャルワーク協会：前会長、東京都杉並区教育委員会学校運営協議会：会長）



かんちゃんあそび村♪



初めて

ボランティアしたよ♪

参加しました！

♥ 周りの人がみんなやさしくて、こっちまでうれしくなりました。また、よろしく！

♥ みんな楽しんでいて、小さい子がかわいかった。

あそびのコーナーが増えたよ♪



シャッフルボード

♥ ストラックアウトとフースケットボールがちょー楽しかったです。



初登場のパズル



フースケットボール



ストラックアウト

♥ パズルが5分くらいで100ピースできた。うれしかった。

♥ 初めて参加しました。いろいろな方と交流もでき、親子で楽しく遊ぶことができて、すごく、すごくよかったです。家では、なかなかできない遊びがたくさんできて、次回もぜひ参加したいと思いました。

いろいろな人をつなげる「かんちゃん」 大切な「居場所」

様々な外国にルーツを持つ子どもや保護者の方とのかかわる中で、常々、彼らが自転車や歩いていける距離に“居場所”となる場所が県内のあちこちにあれば、もっとたくさん子どもたちが生きやすくなるのではないのかな、と感じていました。「かんちゃんの小さな家」はまさにその“居場所”です。

私どもは、ホットルームの講師等でこれまでお手伝いさせていただいています。「かんちゃん」のごさは、地域の枠を超え、県内の多様な人をつなぎ、あたたかく楽しい空間を創出されていることだと思います。

いろいろな意味で垣根のない、“居場所”のモデルとして、今後たくさんの人を巻き込みながらこの輪を広げてほしいと願います。そして、今後も



「かんちゃんの小さな家」を微力ながら応援させていただきたいと思います。

光田 展子さん
(公益財団法人滋賀県国際協会)

だれもが「ほっと」できる素敵なおところ♪

「かんちゃんの小さな家」とのご縁は、子ども食堂の取り組みを通じて始まりました。

数年前になりますが、子ども食堂に参加させていただきました。そこでは、子どもも大人も自然と関わりが生まれ、会話が弾み、初めて参加する私にとっても居心地のよい、楽しい空間だったことを覚えています。

「かんちゃんの小さな家」には、この他にも“つながる入口”が様々あり、どの入口からでもそれぞれが居心地のよい形でつながっていけるのだろうと感じています。私は、この「かんちゃん通信」からも、その居心地のよさをいつも感じています。

一人ひとりにとって大切な居場所であり続けられるよう、これからもこのご縁を大切に、私たち滋賀県社協も取り組みを続けていきます。

黄瀬 絢加さん
(社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会)



子どもたち、若者たちにとって必要な場所 ～ホームページの制作をとおして

これからも応援します～

<https://kancyan-house.com/>

ホームページを制作させていただき、早5年が経ちました。「かんちゃん通信」の掲載を通じて、かんちゃんの小さな家の活動をいつも楽しく拝見しております。

この5年間では、コロナ禍の影響もあり、思うように活動ができずもどかしい思いもされておられることも拝見しております。もどかしい環境下でも、できるところから活動を再開されていたご様子に元気をいただきました。

活動の様子を拝見しながら「かんちゃんの小さな家」は、様々な困難に直面されている子どもたち、若者たちにとって必要な場所だと、とても感じております。

日本の文化だけではなく海外の文化にも触れられる活動があることも、とても素晴らしくワクワクいたします。

皆が温かい環境の中で学び、自由に個性を伸ばし楽しく暮らせる社会づくりに貢献される「かんちゃんの小さな家」の活動を、これからも応援してまいります。

森 真理さん
(株式会社リヒトス・京都府)

スクールソーシャルワーク研究会しが 研修会のお知らせ



◇4月23日(日) 13:30～16:30

場所：コミュニティセンターやす(野洲市)

ワークショップ「対話を大事にするって」

- ・「RJサークル(修復的対話)の実際」
- ・「対話実践を広げていくために」(仮)

ファシリテーター 池田 華子さん
(大阪公立大学)

◇6月10日(土) 14:00～16:30

場所：G-NETしが(近江八幡市)

講演と交流会

「子どもにとってホントウの支援とは」
～支援者の“葛藤”に焦点をあてて～

講師：入海 英里子さん
(日本スクールソーシャルワーク協会会長・
学校法人自由学園スクールソーシャルワーカー)

相談ルームのご案内

子育てや学校生活・卒業後の進路等で
困ったこと、気になることがあれば
声をかけてください！

相談スタッフ

かんちゃん（かんちゃんの小さな家代表
・スクールソーシャルワーカー）
まりこさん（親子をつなぐ学びのスペース
・リレイト代表：京都府）

4月19日（水） 13:00～17:30

5月21日（日） 13:00～17:30

◇定例日以外は、個別に相談に応じます。
◇保護者・支援の方の相談も可（要予約）
◇事前のお問い合わせ先（かんちゃんの
小さな家携帯090-3708-3315）

学びのご案内

主催：スクールソーシャルワーク研究会しが
子ども支援（ケース）学習会

第61回学習会 5月21日（日）



◇会場 かんちゃんの小さな家
◇時間 10:00～12:00
◇事前の申し込みが必要です

SSW研修会（RJ・ワークショップ
・講演会） ※詳細は5ページをご覧ください

「かんちゃんの小さな家 友の会」

入会 よろしくお願ひします

個人会員 1口2,500円・団体会員 1口10,000円

友の会・活動支援カンパの振込口座
振込先銀行 滋賀銀行 安土支店
口座種別 普通 口座番号 403489
口座名称 かんちゃんの小さな家
代表 佐子 完十郎

※次号「第21号」は、10月の発行予定です！

♥「かんちゃんの小さな家 ホームページ」 <https://kancyan-house.com/>

交流会のご案内



4月はお休み月です

第68回かんちゃん

ホットルーム

主催 かんちゃんの小さな家
共催 安土学区まちづくり協議会

5月27日（土）

10:30～12:15

会場 安土コミュニティセンター

参加費：子ども100円・おとな300円

◇内容は調整中です

◇お昼は、テイクアウト。（軽食：お家で食べてね）

かんちゃんホットルームの予定

6月17日（土）

7月22日（土）

8月19日（土）

*時間は、10:30～12:15です。

せせらぎ（編集後記）

◇念願の一つだった「通信」を、ようやく発行することができました。まさしく手探りの日々（中略）子ども・若者支援の「万屋さん」「人と人との出会いとあたたかいつながりの場（ホットフィールド）」・・・手弁当の地域活動を通して、これからの子ども・若者支援の新モデルを全国へ！そのような思いを込めて創刊号を編集しました。◇今回の第20号の編集をしているさなか、ふと「創刊号」を取り出し、なつかしく読み返していました。前述は、「創刊号」の「編集後記」の一文です。◇最初の300部の「発信」が、今では1500～1700部に拡大でき、より多くの皆さんとつながっていけるようになりました。いうまでもなく、多くの皆さまからの物心両面にわたる応援のたまも



のと、深く感謝とお礼を申しあげます。◇今年の9月で開設10年目を迎えます。今一度、原点を見直したいと思います。（か）



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット
かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2
携帯 090-3708-3315（代表 佐子）FAX 0748-46-3283
e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

